

代名詞

1. 代名詞

① ヒンディー語の代名詞の直格および斜格¹は以下のとおりです。

	格	単数	複数
一人称	直格	मैं	हम
	斜格	मुझ [मुझे] ²	हम [हमें]
二人称	直格	तू	तुम / आप
	斜格	तुझ [तुझे]	तुम [तुम्हें] / आप
三人称	直格	यह / वह ³	ये / वे
	斜格	इस [इसे] / उस [उसे]	इन [इन्हें] / उन [उन्हें]
不定代名詞	直格	कोई	कोई
	斜格	किसी	किन्हीं
疑問代名詞	直格	कौन, क्या ⁴	कौन, क्या
	斜格	किस [किसे]	किन [किन्हें]
関係代名詞	直格	जो	जो
	斜格	जिस [जिसे]	जिन [जिन्हें]

人称代名詞には男性・女性の区別はありません。

複数代名詞は、実際には単数の場合でも用いられます。複数であることを明示するには、代名詞の後に **लोग** という単語を続けて、**हम लोग**, **तुम लोग**, **आप लोग**, **ये लोग**, **वे लोग** などとします。लोग には「人々」「人間」などといった意味

¹ 後置詞を従えたときの名詞・代名詞の語形を斜格形、従えないときの語形を直格形と呼びます。

² []内の語形は、後置詞 को と融合した形。以下、同様。

³ यह は近称代名詞、वह は遠称代名詞。以下、同様に / で区別します。

⁴ कौन はヒトに、क्या はモノに対して使います。

があります。

特に一人称複数代名詞については、実際には単数である話者が自身についての謙遜、示威、さらに聞き手に対する親しみなどの感情を込めて用いることがあります。しかし、いずれの場合も文法上の複数性が優先するため、述部は複数形となります。

二人称代名詞は3種類ありますが、丁寧な気持ちや相手に対する敬意を伝えるなど、もっとも普通に「あなた」と呼びかける際には、आप を用います。それに比べて、तू は目下の人物や子どもに向かってやや乱暴に呼びかける場合に多く使います。争いの際に相手をののしるような時にも使われます。तुम は親しい友人同士の間などでよく使われます。आप では親しみをうまく伝えられないと感じるようなときにも、よく तुम が使われます。インドの人と友人になって、相手があなたのことを तुम と呼びかけてくれるようになったら、あなたも तुम を使ってみましょう。また、आप は、敬意を込めた三人称代名詞として、対象者がその場にいる、いないにかかわらず、「この方、あの方」と言及する際にも使われます。

三人称複数代名詞を実際には1人の人間を指して用いる時には、その人物に対する敬意や丁寧な気持ちを表わします。また、三人称代名詞は、いずれも指示代名詞としても使われます。यह लड़का「この少年」、वे जापानी「あの日本人たち」など。

में कौन हूँ ? わたしはだれ ?

हम लोग कल मसूरी जा रहे हैं। わたしたちは明日マसーリーに行くの。

मुझसे देखा नहीं जाता। 私には見てもらえない。

तुम पहले अपने हाथ मुँह धो लो। まず手と顔を洗え。

तू इधर आ और अपना नाम बता। こっちに来て、名前を言え。

आप इस कालेज के प्रिंसिपल साहब हैं। こちらはこの大学の学長でいらっしゃいます。

आप आराम से बैठिए और कुछ देर तक के लिए अपनी थकावट दूर कीजिए। ゆっくり椅子におすわりください、しばらく疲れをお取りください。

यह टोपी बहुत गंदी है, मैं इसको नहीं पहनना चाहती हूँ। この帽子とってもよごれているから、わたし着たくないわ。

② 以下のように、代名詞の所有格と能格には、特別な形をとるものがあります。

一人称	所有格	मैं	मेरा, मेरे, मेरी ⁵	
		हम	हमारा, हमारे, हमारी	
二人称		तू	तेरा, तेरे, तेरी	
		तुम	तुम्हारा, तुम्हारे, तुम्हारी	
三人称		能格 ⁶	ये / वे	इन्होंने / उन्होंने ⁷
疑問代名詞			कौन	किन्होंने(複数)
関係代名詞	जो		जिन्होंने(複数)	

वह क्या है ? क्या वह तुम्हारी चप्पलें हैं ? अरेは何 ? 君のサンダルかい ?

इन में से कोई-न-कोई आपके साथ चलने को तैयार हो जाएँगे । この中の誰か、彼かはあなたと同行するでしょう。

दिले नादान तुझे हुआ क्या है ? आखिर इसकी दवा क्या है ? おろかな心よ、いったいおまえはどうしたというのか ? 恋に効く薬があるものか ?

दूध किसको पसंद नहीं है ? 牛乳が嫌いな人がいるかしら ?

दूसरे क्षण कौन क्या कर बैठेगा, कोई नहीं कह सकता । 誰が何をしでかすか、誰にもわからない。

चाहे कोई भी हो, ऐसी गंदी बातें कहनेवाले को इस घर में नहीं आने दूँगी । たとえ誰であれ、こんな口汚い言葉を使う人間は、この家には決して入れません。

जो हमेशा सच बोलता है, उसको किसी प्रकार की चिंता नहीं होगी । いつも真実を語る人は、何の心配もないでしょう。

जिस घर में वे पैदा हुए थे, उस घर की तस्वीर उनके सामने घूमने लगी । 生家の記憶が目の前に浮かんできた。

⁵ मेरा, मेरे, मेरी はそれぞれ所有格を表す後置詞 का の変化に対応しています。以下、同様。

⁶ 一人称単数代名詞 मैं と二人称単数代名詞 तू は、能格の後置詞 ने を従える場合には変化せず、それぞれ मैंने, तूने となります。

⁷ 後置詞が代名詞に後続する場合は、一般に間隔を空けずに表記されます。

2. 再帰代名詞

अपनाは「自分の」を意味し、文の主語(意味上の主語を含む)、および受動態における行為主体への所属を表します。

उन्होंने खुद सारी ज़िम्मेदारियाँ अपने ऊपर ले लीं। あの方は自発的にすべての責任を担った。
राजा अपनी प्रजा का पालन करता है। 王は自分の臣民を守る。
उसने अपनी बहन से कहा कि तुम मेरे साथ आ जाना। 彼は妹に自分と一緒に来るように言った。
यह मेरी अपनी कार है। これはぼくの自分の自動車です。
मुझसे अपनी बेटी का तड़पना नहीं देखा जाता। 私には自分の娘が苦しむのを見てもらえない。
जिसमें अपनी कुशल हो, वही कीजिए। 自分のためになることをやりなさい。(聞き手への所属)
भारत अपना देश है, अपना वतन है। インドは私の国だ、私の祖国だ。(話者への所属)